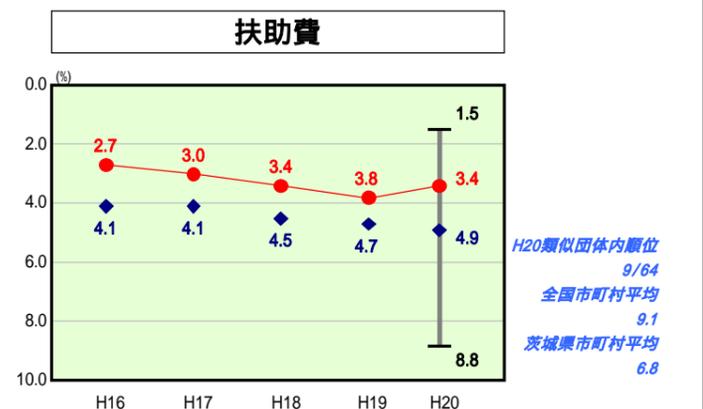
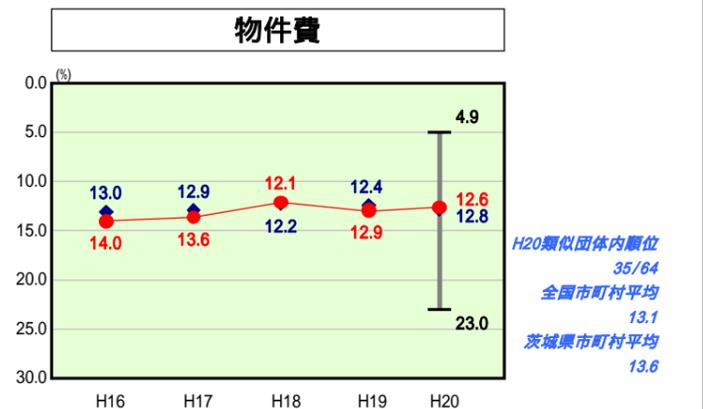
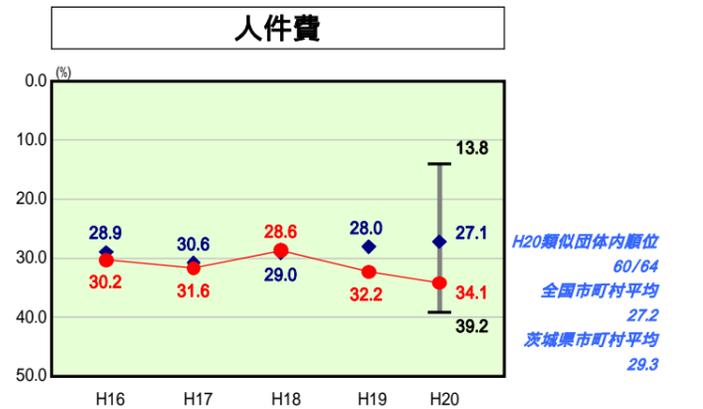
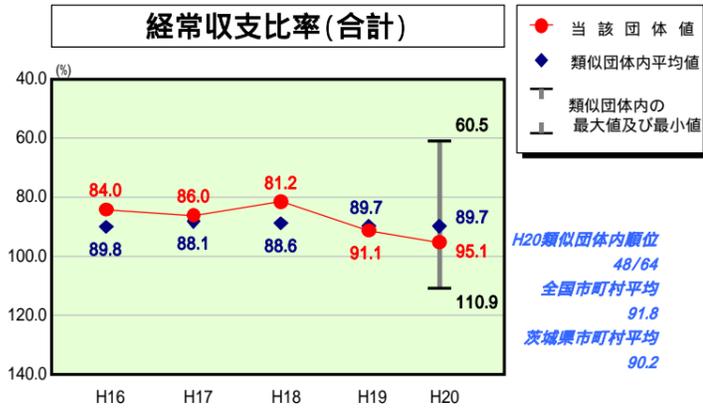
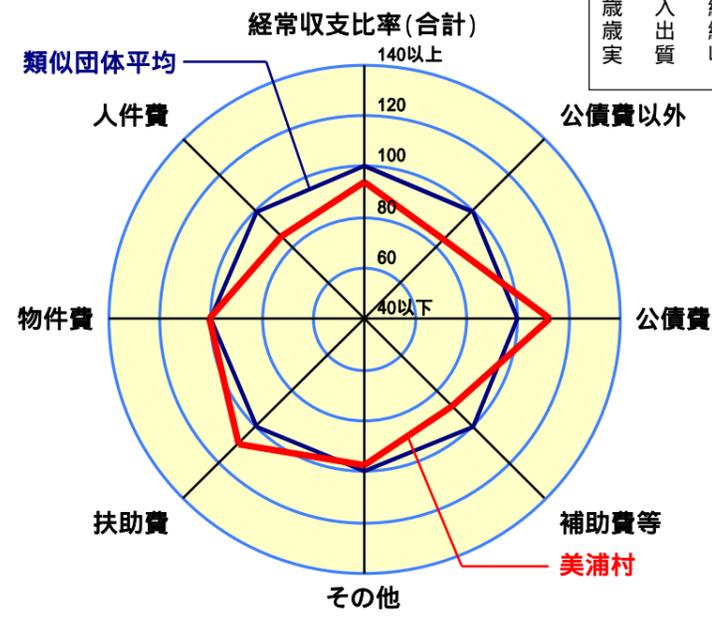


歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

経常収支比率の分析



人口	17,888人(H21.3.31現在)
面積	34.03 km ²
標準財政規模	3,799,949千円
歳入総額	5,929,811千円
歳出総額	5,717,201千円
実収支	212,610千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【経常収支比率】
(人件費)
 人件費に係るものは、平成20年度において34.1%と類似団体平均と比べて高い水準となった。また平成19年度の32.2%と比べても高くなっているが、これは経常収支比率を算定する際に分母となる経常一般財源が、平成19年度と比べて80百万円(2.1%)の減となったこと及び非常勤職員の増加により人件費が46百万円(3.7%)の増となったことによる。今後は、非常勤職員を含めた更なる人件費の抑制に努める。

(物件費)
 物件費に係る経常収支比率は、類似団体平均を若干ながら下回った。これは、委託料が減となったこと等により物件費が平成19年度に比べて4.5%減っていることが大きな要因であり、行革による内部事務経費等の抑制による効果が現れてきている。今後は、更に内部事務経費等の効率化を図り物件費の圧縮に努める。

(扶助費)
 扶助費の経常収支比率を類似団体平均と比較すると、平均を下回って推移してきている。しかし、少子高齢化の急激な伸展等の様々な要因により、扶助費に係る支出は今後も増加することが見込まれる。これにより扶助費に係る経常経費が今後の財政運営を圧迫する要因となる可能性がある。

(公債費)
 公債費に係る経常収支比率は、類似団体平均と比較して大幅に低い水準で推移している。これは平成8年度に終了した光と風の丘公園建設以降大規模な起債事業が無かったことが大きい。平成13年度以降の臨時財政対策債発行や平成19年度、20年度に美浦中学校の改築事業による起債(2年間で914百万円)があり、起債残高が増加傾向にあるため、今後は適正な水準を確保できるような財政運営が必要である。

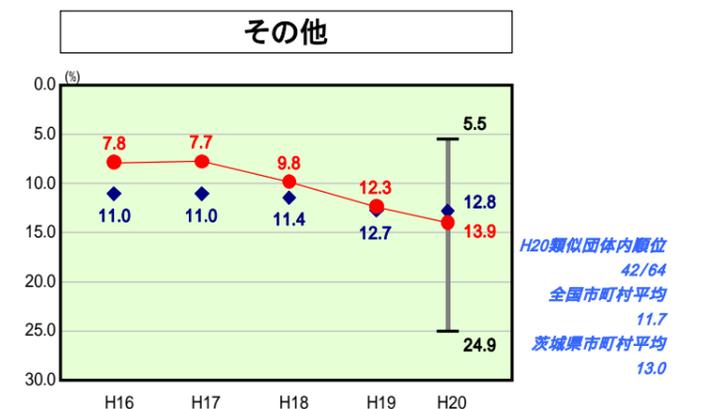
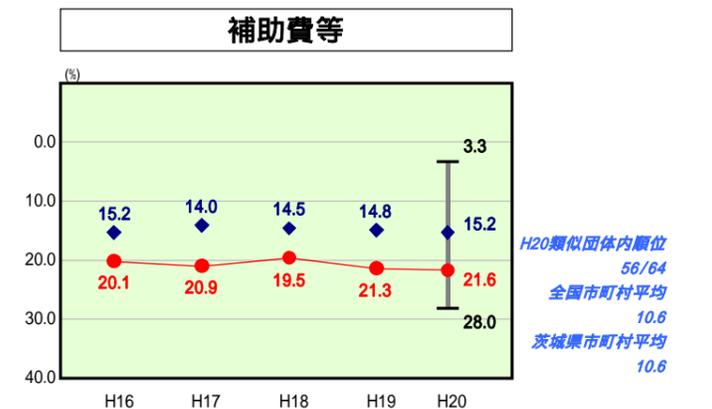
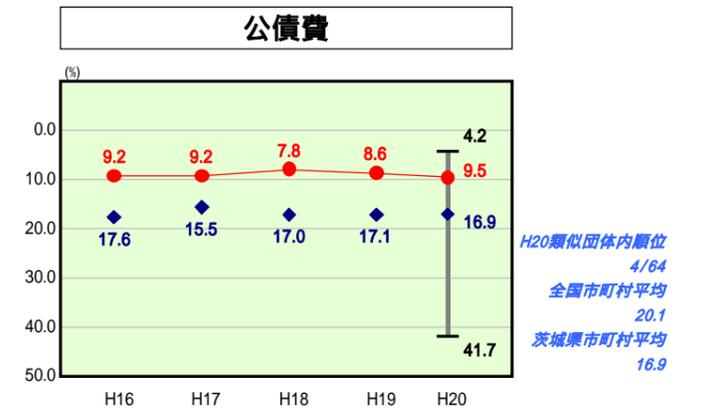
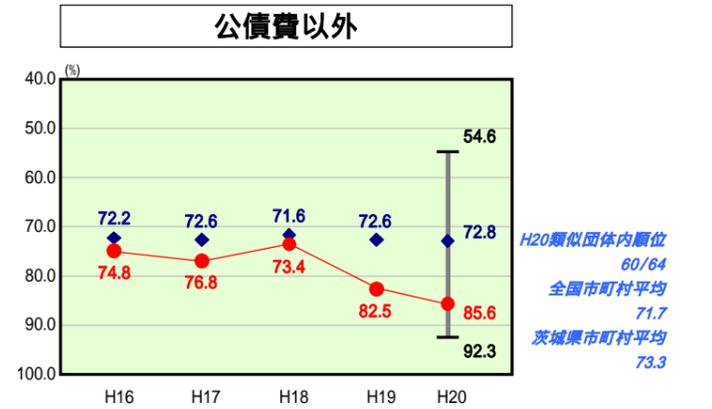
(補助費等)
 補助費等に係る経常収支比率は、類似団体平均を上回って推移してきている。これは、一部事務組合で行っているゴミ処理や消防業務等のための負担金が必要な割合(補助費等のうち約68.9%)を占めているためと考えられる。また、各種団体等に対する単独補助金等については補助金検討委員会を経て年限を設ける等の適正化を行っており、今後は一部事務組合への負担金を含めた全体的な経費の抑制を図っていく。

(その他)
 その他に係る経常収支比率が類似団体平均を上回っているのは、繰出金の増加が主な要因である。特に介護保険特別会計に対する法定分の繰出金や公共下水道事業特別会計に対する起債償還経費としての繰出金が増加していることが挙げられる。今後は、公共下水道事業については、加入の促進を進め料金収入の増額確保を図りながら普通会計からの負担額を減らすように努める。

【人件費及び人件費に準ずる費用】
 人件費及び人件費に準ずる費用については、人口1人当たり決算額で類似団体平均に対して約11.9%上回っている。これは、一部事務組合への負担金及び公営企業(法非通)に対する繰出金が類似団体平均を大きく上回っていることが要因となっている。今後は、普通会計で直接支出する人件費に相当する経費だけでなく、公営企業(法非通)繰出金や一部事務組合負担金について抑制を図るよう努めていく。

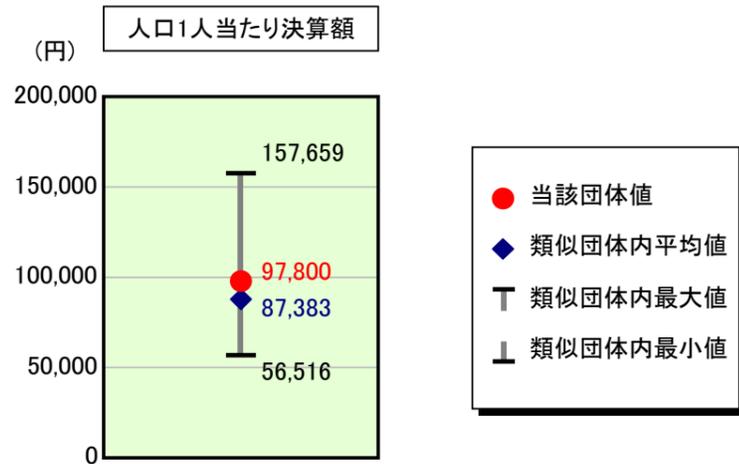
【公債費及び公債費に準ずる費用】
 公債費及び公債費に準ずる費用については、類似団体平均と比較して人口1人当たり27.6%下回った負担となっている。これは、投資的経費において大きな起債を伴う事業が少なかったこと等により、類似団体平均に比べて普通会計における公債費充当一般財源等額が約半分となっている事が大きな要因と考えられる。しかし、一部事務組合等の起こした地方債に対する負担額が類似団体平均に対して上回っているため、関係団体と協調しながら推移を見守り、今後は、このような適正な水準を維持できるような財政運営を引き続き行っていく必要がある。

【普通建設事業費】
 普通建設事業の人口1人当たり決算額の推移をみてみると、平成18年度までは類似団体平均を下回っていたが、平成19年度(631百万円)及び20年度(943百万円)に美浦中学校改築事業を行ったことにより、決算額が大きく増額となった。これは、一時的な状況と考えられるが、今後は財政状況を踏まえ真に必要な事業を厳選し実施していく。



歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



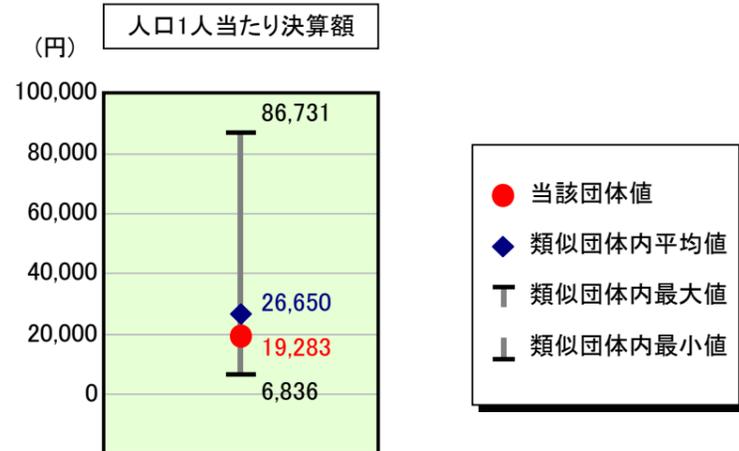
人件費及び人件費に準ずる費用

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
人件費	1,404,073	78,492	73,465	6.8
賃金(物件費)	23,790	1,330	4,682	▲ 71.6
一部事務組合負担金(補助費等)	291,359	16,288	11,769	38.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	431	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	162,338	9,075	3,853	135.5
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	26,187	1,464	1,092	34.1
▲退職金	▲ 158,299	▲ 8,849	▲ 7,909	11.9
合計	1,749,448	97,800	87,383	11.9

参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	8.11	7.98	0.13
ラスパイレス指数	96.7	95.7	1.0

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

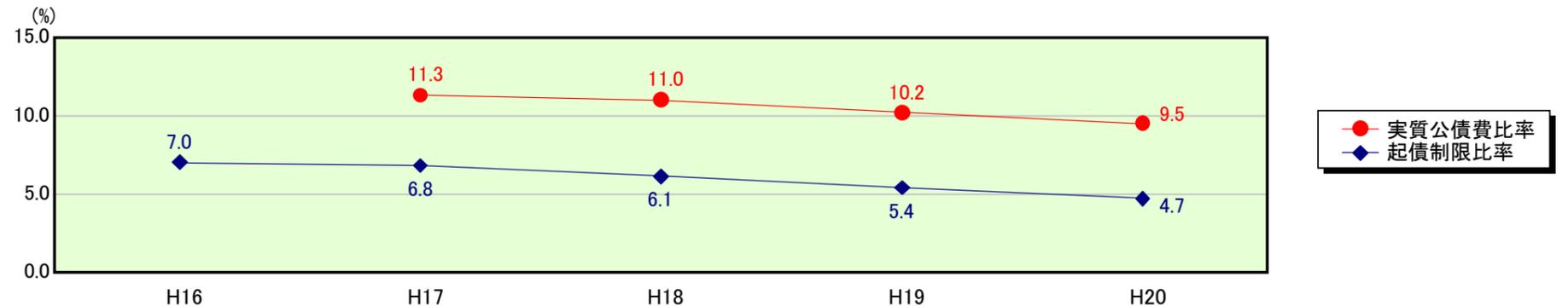


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	359,302	20,086	39,720	▲ 49.4
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	177,397	9,917	11,894	▲ 16.6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	126,801	7,089	6,365	11.4
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	3,637	203	1,388	▲ 85.4
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	22	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 322,206	▲ 18,012	▲ 32,740	▲ 45.0
合計	344,931	19,283	26,650	▲ 27.6

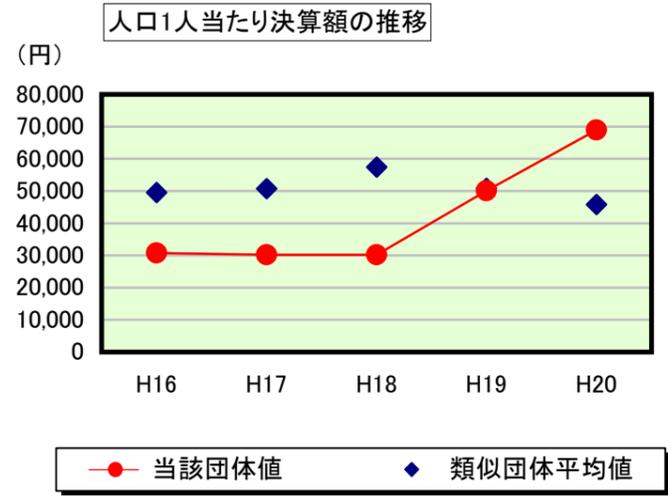
平成21年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体については、「-」としている(以下の項目について同じ。)

※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H16	568,842	30,800	▲ 6.3	49,563	▲ 13.9	7.6
うち単独分	486,838	26,360	11.5	32,061	▲ 17.3	28.8
H17	556,568	30,188	▲ 2.0	50,707	2.3	▲ 4.3
うち単独分	460,905	24,999	▲ 5.2	32,323	0.8	▲ 6.0
H18	549,682	30,221	0.1	57,400	13.2	▲ 13.1
うち単独分	383,525	21,086	▲ 15.7	34,972	8.2	▲ 23.9
H19	904,841	50,080	65.7	50,788	▲ 11.5	77.2
うち単独分	312,053	17,271	▲ 18.1	26,521	▲ 24.2	6.1
H20	1,232,672	68,911	37.6	45,820	▲ 9.8	47.4
うち単独分	387,484	21,662	25.4	22,743	▲ 14.2	39.6
過去5年間平均	762,521	42,040	19.0	50,856	▲ 3.9	22.9
うち単独分	406,161	22,276	▲ 0.4	29,724	▲ 9.3	8.9